

## タイトル

熱い想いを発信し続けて、応援してもらえる人になること

### 1. エピソードの要約

2021年1月にNPO法人を立ち上げることを決意し、7月に設立登記、8月に「さぼんて」β版をリリースと、駆け抜けてきた2021年。そして、事業を展開してきた2022年。

私が走り続けることができているのは、応援してくれる方々がいるから。

最初から応援してくれる人がいたわけではなく、妄想レベルの頃からブレずに熱い想いを発信し続けてきたからこそ、応援してくれる方々に出逢えました。

### 2. エピソード内容

看護師として働きながら感じてきた社会課題を解決したいと動き始めたとき、たくさんの方に応援していただきながら、NPO法人を立ち上げて、医療福祉の有資格者とそのサポートが必要な人が、つながり合い、助け合うプラットフォーム「さぼんて」β版をリリースすることができました。みなさんの応援なしには、実現しませんでした。

そして、このエピソードは、私だけに起こることではなく、みなさんにも起こることだと思うのです。

#### 1) 妄想レベルでの発信（コロナ前）

「こんなことができたらいいな」

みなさんにも、日常生活や仕事の中で、そう思うことがたくさんあると思います。

「医療職・介護職・福祉職が、ちょっとした隙間の時間にお手伝いできたら、困ってる人も助かるし、つながる場をつくりたいな」と、“愚痴”ではなく、“意見”や“願望”というかたちで口にしていると、共感者が現れてきました。

#### 2) 発信を続けると、ビジョンが明確になる（コロナ禍突入）

「こんなことをしたいんです！」

共感してくれる方との妄想話を繰り返しつつ、TwitterやInstagramでも発信をしてきました。

この段階では、一緒に実現させようという応援者よりは、「いいね」「実現したらすごい」と言いつつも、「誰かが実現してくれたらいいのにな」という応援者が複数人登場してきました。

そして、他分野の経営者に話すと、解決したい社会課題やどのように解決しようと考えているかが伝わるようにプレゼンすることができず、伝わらないながらも、「企画書を作った方がいい」「この人に相談してみたらいいよ」との助言をくださるような応援者も現れ始めました。

そして、なにより、発信を続けていると、「本当にこれをやりたいんだ」と自分自身に腑に落ち、どんどんビジョンが明確になっていきます。

#### 3) 応援者が複数になると、前進あるのみ

応援してくれる人がいるのに、“大口叩くのみで行動しない人”になるような、応援者の気持ちを踏みにじるようなことはできなくなってきました。

そうすると、もう退路はありません。

行動あるのみ。

「さぼんて」の原案を練り、大手企業のアクセラレータープログラムやスタートアッププログラムに申し込み、プレゼンをしていくうちに、営利法人で実現させることに違和感が生じ始め、非営利法人での実現がフィットしていると感じるようになってきました。

#### 4) サポートするから自分でやってみなよ！と背中を押してもらおう (2021年)

勤務先のNPO法人に、企画書を提出してプレゼンしたところ、「こんなにもビジョンがはっきりしていて、企画も具体的なのであれば、他人の法人で始めると、本当にやりたいことができないと思うようになる時が来るから、自分でやりなよ！サポートするから！」と思いきり背中を押してもらいました。

よし、自分でNPO法人をつくろう！そう決めた瞬間です。

あとから聞いた話ですが、「こんなことをやりたいと言ってくる人はたくさんいる。手伝ってほしいと言ってくる人もたくさんいる。あゆみさんの場合は、自分で調べてある程度書類を作ってから“これであっていますか？”“現時点で、他に何をしたら良いですか？”と聞いてくるので、この子は本当に実現させる子だなと思った。」とのことでした。

#### 5) 「こんなことをしたいんです！」を発信し続ける

NPO法人を立ち上げようと決めたはいいいけれど、知識ゼロ。

でも熱意だけはある。

そんな時に、日本でclubhouseが大流行！

毎日clubhouseに入り浸り、いろんなところで「こんなことをしたいんです！」「NPO法人を立ち上げます」と話し続け、TwitterやInstagramでも一貫した想いを発信し続けていると、「NPO法人をつくりたいなら、ここに相談に行ったらいい」「私もそんなことやりたいなと思っていたので、一緒にやりたいです」「こんなことならお手伝いできます」と、行動レベルでの応援者が現れ始めました。

みなさん、おっしゃるのは、「あゆみちゃんの熱意が伝わってきた」。

熱意を伝えるには、心の底から実現させたいと思っていること。

それは、意識してできることではなく、これまで発信し続けてきたことで自分との会話をしてきたからこそその熱意。

#### 6) 軸をブラさずに、「考える」「行動する」

これだけ応援してくれている人がいるのだから、その気持ちにお応えするためにも、ビジョンを実現させていくことが私の責務。

応援してくれた人がいなかったら、そもそもここまで来ていない。

応援してくれた人は、自分への見返りではなく、私が思い描いたビジョンに共感してくれたから、応援してくれたのです。

そして、今後にも期待してくれているのです。

まだスタートしたばかりの道を、切り拓いていきます。

### 3. メッセージ

準備ができてから発信するのではなく、発信しながら準備をする。

発信することで、応援者が現れ、どんどん道が拓けてきます。

私だからできたことではなく、みんなできるんだけどやらないことを、実践しただけのことだと思うのです。

なにか実現させたいものがある時は、応援してもらえる人になることが大事だと実感しました。